



問い合わせ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 森 弘和

電話 022-363-0111 (内線2530)

平成26年12月19日  
第二管区海上保安本部  
午前9時発表

## 宮城県沿岸の海流観測データが地域連携により充実！！

二管区海洋速報の最新号（第26号、12月19日発行）から、宮城県水産技術総合センター所属の漁業調査指導船「みやしお」の海流観測データを採り入れ、より多くの安全運航に資する海洋情報の提供が可能となりました。

第二管区海上保安本部では、東北地方沿岸の海流及び水温の状況を図示した、「二管区海洋速報」をホームページ等により隔週で発行しています。船舶を運航する上では海流の影響をうけるため、船舶運航者の方々の海況の把握に広く活用されています。

この「二管区海洋速報」は、海上保安庁が観測した成果のほか、気象庁等の国の機関や海洋に関する教育機関等の成果により作成しています。

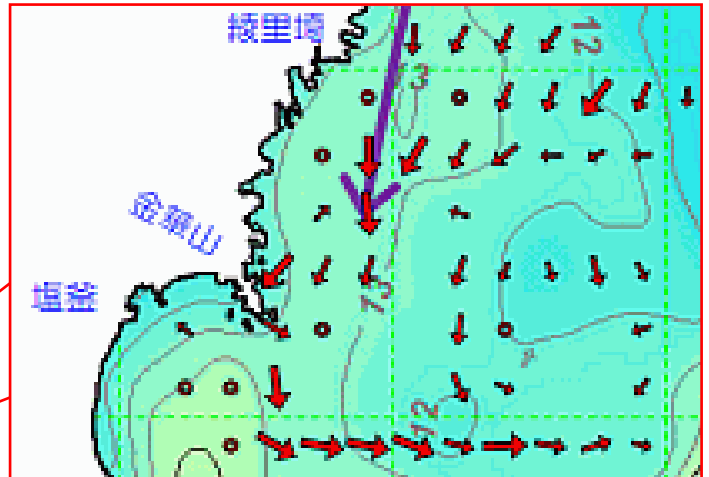
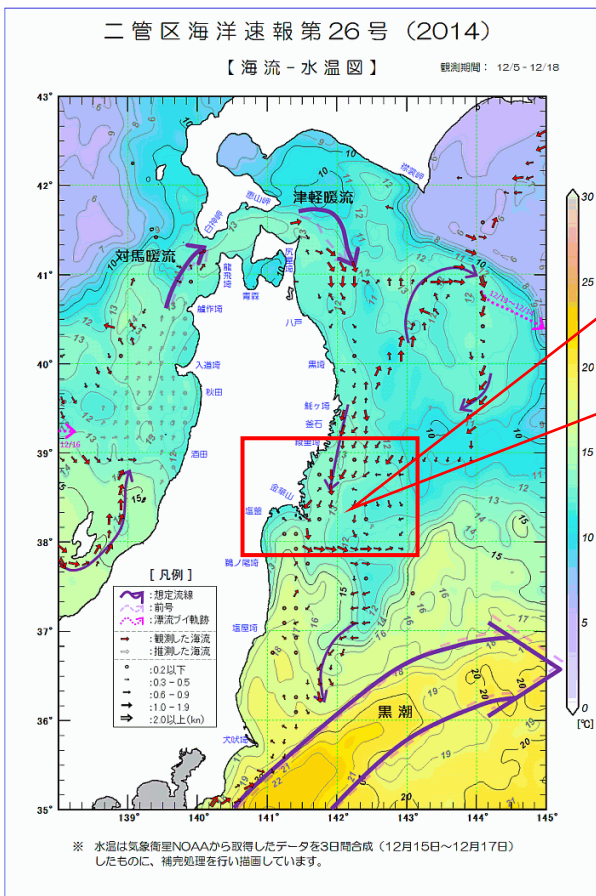
今般、宮城県水産総合センターの協力により、平成26年3月に竣工した同センター所属の漁業調査指導船「みやしお」に搭載された最新型の流速計により観測した海流観測データを、二管区海洋速報の最新号（第26号）から採り入れることができるようになりました。

この海流観測データの提供を受けることにより、これまで得られなかった宮城県沿岸の定期的な海流観測データを得られるようになり、海流情報を充実させられるため航海者に対して安全運航に資する海洋情報の提供が可能となります。

二管区海洋速報

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN2/kaisyosokuho/index.html>

## 活用例



↑ 赤矢印は今回、宮城県水産技術総合センターより提供を受けた海流観測データ。

## 漁業調査指導船「みやしお」



宮城県水産技術総合センター 提供

宮城県沿岸・沖合海域における主要海介類の資源量の把握や漁業環境調査等を安全かつ効率的に実施し、水産資源の保全と資源管理体制の強化、水産動植物の増養殖と生育環境の保全及び改善に資するとともに、東日本大震災で甚大な被害を受けた本県漁業の再構築を目的に建造されました。